

社会科作品募集のお知らせ

令和4年7月20日
作新学院小学部社会科

みなさんにとって楽しい夏休みをむかえました。長い休みの間は、いろいろなことにチャレンジするいい機会です。自由研究のひとつとして、社会科に関するコンクールに取り組んでみてはいかがでしょうか。興味がある人はぜひ挑戦してみてください。

※作品は2学期の始業式までに担任の先生に提出してください。

※詳しい募集要項などは小学部第1校舎1階会議室前、第2校舎1階ロビー付近にあります。数に限りはありますが、必要な方にはお渡ししますのでお知らせください。夏休みの面談時等にお持ちいただいても結構です。

《2学期始業式しめきりのコンクール》

1. 第11回しもつけ新聞スクラップ作品コンクール（主催：下野新聞）

<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/440658>

- テーマは自由。下野新聞をはじめ栃木県内で取り扱っている日刊新聞で、2021年10月から2022年9月までの記事を使って作品を作る。
- 切り抜いた新聞記事を模造紙サイズ（1～3年生はこの半分のサイズでも可）の紙にレイアウトし、①独自の見出し、②作品づくりのきっかけ・動機、③制作を通して分かったこと・まとめを書いて仕上げる。
- 記事ごとに切りぬいた新聞名と発行年月日を明記する。写真や市販の地図などを多用せず、自分自身の手で工夫をして作る。模造紙の裏にラシャ紙を貼ったり、端にテープを貼るなどして作品を補強する。立体作品、模造紙からはみ出る作品は不可。
- 裏面右下に氏名（ふりがな）、性別、学校・学年、住所・電話番号、作品タイトルを明記した所定の応募用紙を貼り付ける。応募用紙は学校でもらうか、ダウンロードして使ってください。

2. 第30回「ジュニア知事さん」作文募集（主催：栃木県）

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/c05/pref/kouhou/iken/jrchiji.html>

- 4～6年生。「ふるさと“とちぎ”の未来予想図～夢の実現に向けて、私が知事になったらやりたいこと～」をテーマに、400字詰め原稿用紙1枚以内にまとめる。
※専用の応募用紙があります。市販の原稿用紙でもかまいません。
- 原稿用紙外のわくに題名。題名は作品の内容がイメージできるものをつける。
- 用紙うら面の応募票に、①題名、②学校名、③氏名（ふりがな）、④学年、を明記。
※市販の原稿用紙で応募する場合は、応募票を切り取って原稿用紙の裏面に貼るか、裏面に必要事項を記入してください。

3. 第19回「新聞を読んで」感想文コンクール（主催：下野新聞）

<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/440662>

- 2021年10月～2022年9月までの期間に読んだ新聞記事を対象とし、自分の考えや思いをまとめる。1～3年生は、家族の方に新聞記事を読んでもらうことも可。
- 400字詰め原稿用紙で、①1～3年生は640字以上800字以内、②4～6年生は800字以上1000字以内でまとめる。1行目に題名、2行目に学校名・学年、3行目に氏名（ふりがな）、4行目に記事の掲載日と新聞名を記入し、5行目から本文を書く。
- 読んだ新聞記事を切りぬいて原稿用紙に添付。コピーは不可。

4. 第8回「わたしたちの暮らしと水」かべ新聞コンテスト（主催：セディア財団）

https://www.sedia-found.org/contest_newspaper/

- わたしたちの暮らしに欠かすことのできない大切な水について調べたり、学習したことなどをまとめたかべ新聞を作る。グループでの制作も可。
- 作品テーマ例
 - ・ステイホーム～家族でチャレンジ！節水とエコ
 - ・水の歴史を調べてみよう
 - ・つたえよう！水の大切さ
 - ・学校や家で使う水はどこからくるのかな
 - ・水を通して考える自然のめぐみと災害
 - ・防災と水
 - ・井戸って何？むかしの水と暮らし
 - ・世界の国の水事情
 - ・水と環境のつながりを調べてみよう
 - ・SDGsと私たちの暮らしと水 など
- 作品は新聞形式のもので、模造紙・学習新聞用紙・はがき新聞など大きさは自由。
- 手書き・パソコン作成のどちらでも可。
- 作品の裏面に応募票を貼り付ける。
※学校でとりまとめて応募しますので、応募票には①題名、②学校名、③氏名、④学年、⑤保護者等の支援について、をご記入ください。

5. 令和4年度統計グラフ栃木県コンクール（主催：栃木県）

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/c04/pref/toukei/toukei/gurakon.html>

- 課題は自由。小学校4年生以下の児童の応募については、児童が自ら観察または調査した結果をグラフにしたものとする。
- 用紙はB2判（仕上げ寸法72.8cm×51.5cm）とし、縦・横どちらでも可。
- 紙質・色彩は自由。裏面の板張り（パネル仕上げ）、表面のセロハンカバーなどは不可。
- 第三者が作成したイラストや写真などは使用しない。
- 詳細は作品募集要領（ホームページ）をご覧ください。

6. 第12回「税に関する絵はがきコンクール」(主催：宇都宮法人会)

<https://www.zenkokuhojinkai.or.jp/joseibukai/contest.html>

- 税金は毎日の生活の中でどのように役立っているでしょう。税の大切さや税の果たす役割について、調べたことや感じたことを絵はがきに表してみましょう。
- テーマ…税に関する絵(例えば、税金で造られている建物・施設、税金で購入される物品、税金で行われている仕事など)。画材は自由。文字や標語の書き入れも可。
- 募集は6年生のみです。応募用紙は終業式にお配りします。
- お配りした専用はがき、または官製はがきに必要事項を記入してください。学校に提出していただいたものは小学部からまとめて応募します。

7. 令和4年度もったいない4コマまんがコンクール(主催：宇都宮市もったいない運動市民会議)

<https://www.u-mottainai.com/とりくみ/4コマまんが/>

- 「ひと・もの・まち」を大切にしているところ「もったいない」について、日々の生活の中で感じていること、実行している「もったいない」にまつわるエピソードなどを縦4コマのまんがにする。応募は1人3点まで。
- 応募用紙またはA4サイズの紙に「作品タイトル」「4コマまんが」を描いて必要事項を記入。コマのサイズは、縦4.5cm、横6.5cm、コマの間0.5cm。色・筆記具は自由。
- 入賞作品は、宇都宮市の「もったいない運動」推進のために活用されます。

※このコンクールは締切が8月31日必着になっていますが、9月1日に取りまとめて発送します。始業式に必ず提出してください。

《随時募集するもの》

8. 第19回新聞切り抜き作品コンクール(主催：東京新聞)

<https://www.tokyo-np.co.jp/tags/kirinuki>

- 個人またはグループ(原則5人以内)で応募。
- 作品を作る際のポイント…①作り手のメッセージを込めたメインの見出しがあること、②記事の分類を工夫すること、③まとめの文章を書くこと。
- 台紙は模造紙を使用。縦、横は自由。台紙から記事がはみ出たり、立体的になっているものは不可。台紙の裏側は四方のふちを粘着テープで補強して破れにくくする。
- 応募用紙(東京新聞ホームページからダウンロード)に必要事項を記入し、作品裏面隅に貼る。
- 作品には「使った新聞の名前」と「その記事の掲載日」を明記。記事のコピーは不可。
- 東京新聞電子版に限り、紙面イメージの切り抜き記事を補完的に使用することができる。

※作品のしめ切りが2023年1月なので、応募は冬休み明けまで随時受け付けます。新聞スクラップをやってみたい人は夏休みからぜひ始めてみてください。